

# 第33期9月期 決算説明会資料

---

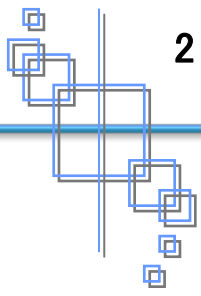
(自2009年10月1日～至2010年9月30日)




2010年11月26日開催

株式会社インフォメーションクリエイティブ

(証券コード:4769)



I	会社概要 . . . . .	P 3 ~ P 5
II	事業の概要 . . . . .	P 6 ~ P 11
III	2010年9月期 決算内容 . . . . .	P 12 ~ P 21
IV	今後の中長期的な経営戦略 及び2011年9月期業績見通し .	P 22 ~ P 30

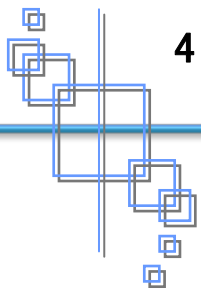


# I 会社概要

**株式会社インフォメーションクリエイティブ**

---

**I Tであなたの思いを形に**



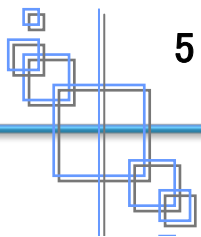
**設立** : 1978年2月20日  
**資本金** : 4億7百万円(2010年9月末現在)  
**発行済株式総数** : 3,866千株(2010年9月末現在)  
**決算期** : 9月  
**代表者** : 山田 亨  
**従業員数** : 785名(2010年9月末現在) 平均年齢 31.1歳  
**業種** : 情報サービス業

- ①ソフトウェア・ソリューション
- ②ネットワーク・ソリューション
- ③運用サービス・ソリューション
- ④プロダクト・ソリューション

**JASDAQ 上場** : 2000年7月13日  
**株式売買単位** : 100株単位  
**証券コード** : 4769(情報・通信業)



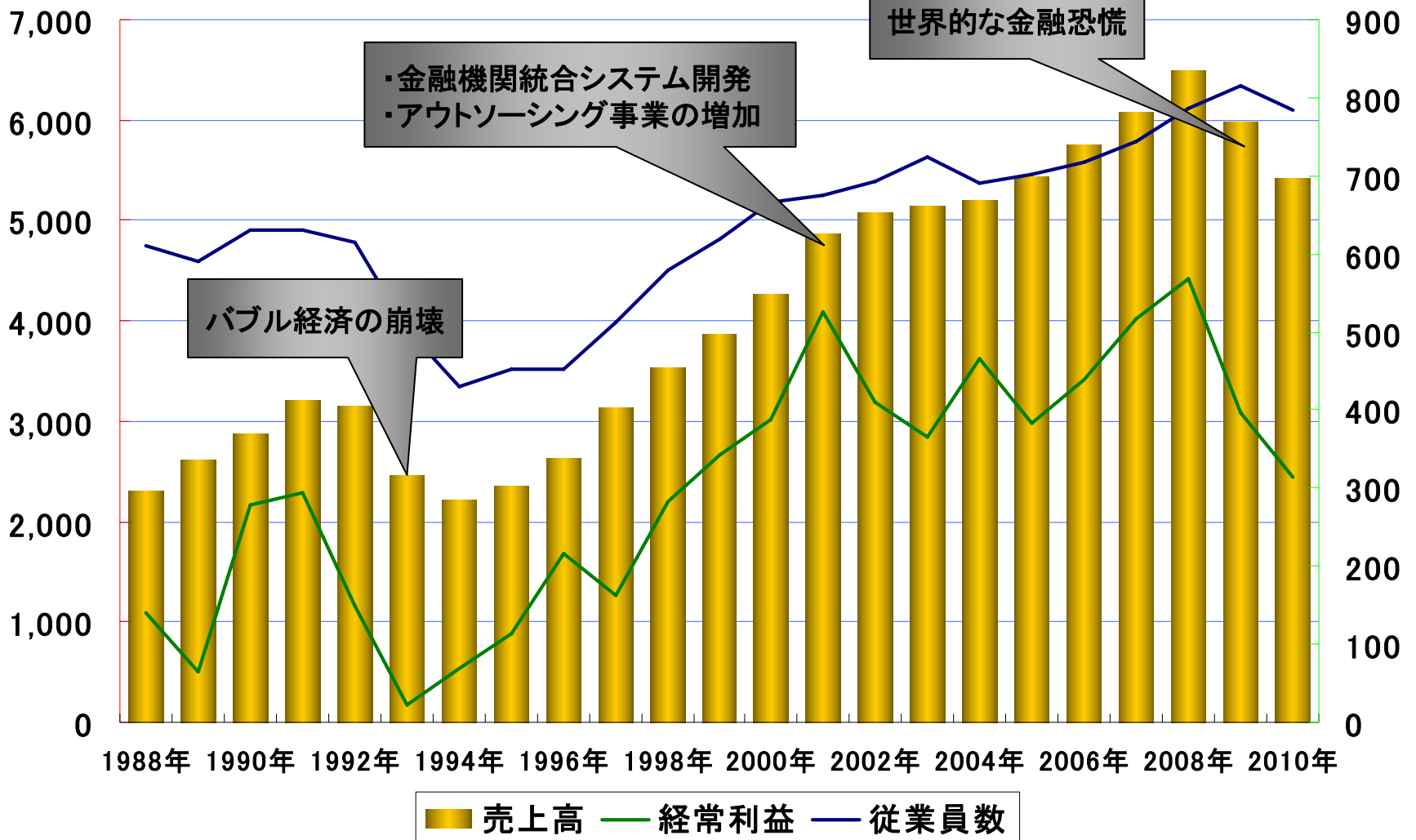
# 業績・従業員数の推移

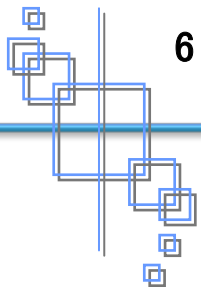


(売上高 単位:百万円)

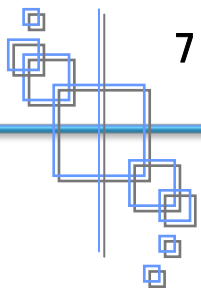
(経常利益 単位:百万円)

(従業員数 単位:名)

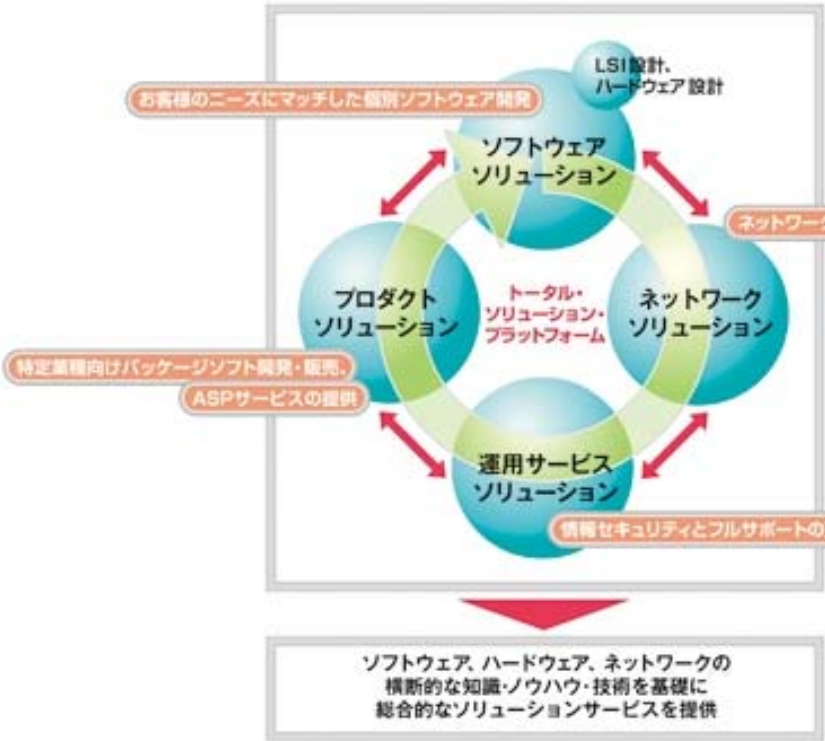




## Ⅱ 事業の概要



各領域の技術・ノウハウを  
他の領域に活用



## ソフトウェア・ソリューション

業務システム開発から統合パッケージ導入支援、システム統合、組込みソフトウェア分野も対応

## 運用サービス・ソリューション

24時間365日フルサポート体制で、システム構築、性能管理、障害管理、セキュリティ管理等、コンピュータの運営に関わるサービスを提供

## ネットワーク・ソリューション

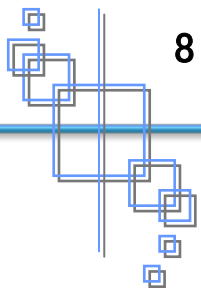
各種ネットワークシステムの構築からセキュリティディフェンスなどのコンサルティングサービスまで総合的なサービスを展開

## プロダクト・ソリューション

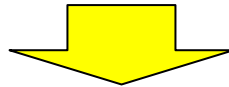
特定業種のニーズに対応したプロダクトの開発・販売を進め、独自市場の創造

多種多様なニーズに対応した  
高品質、広範な技術・サービスを提供



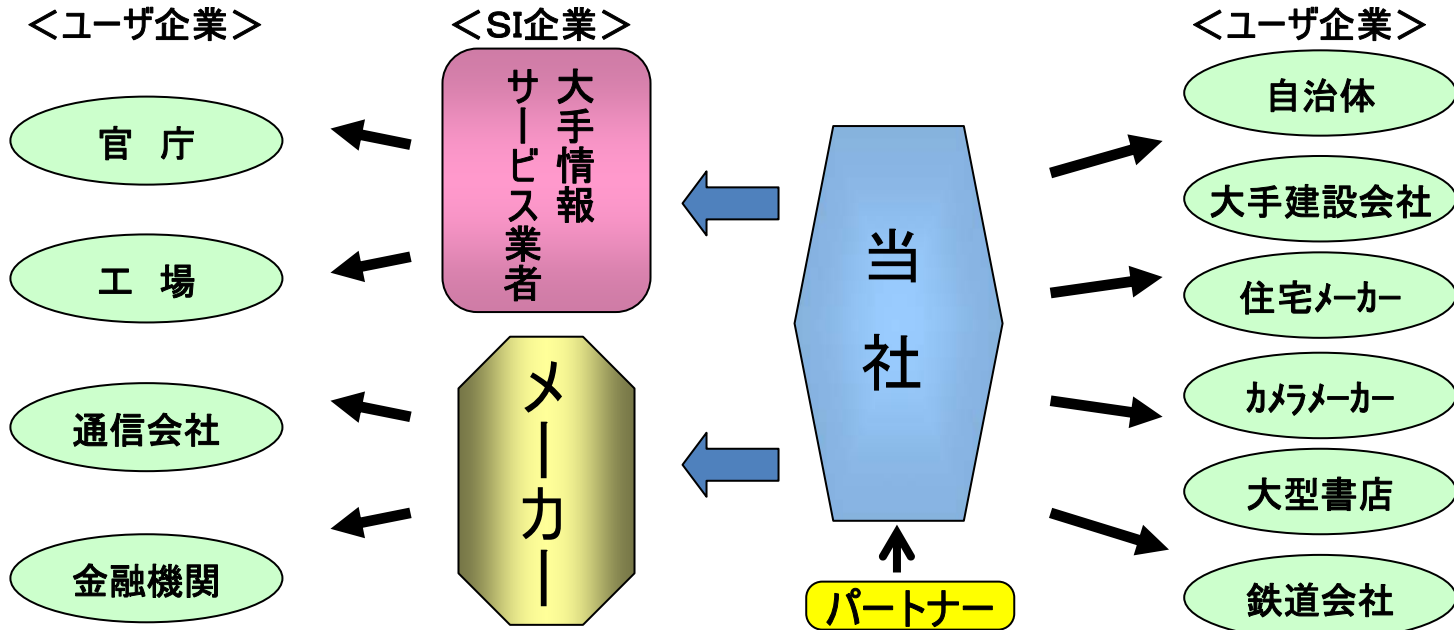


## 顧客密着型（8割のSEが顧客先に常駐）

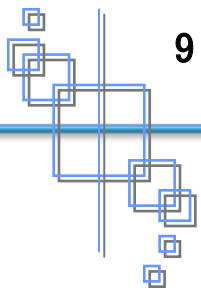


顧客との信頼関係が高まり、長期取引を実現  
顧客先常駐SEを通じて新規案件を優位に受注

Face to Face

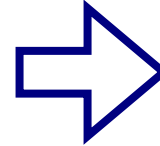
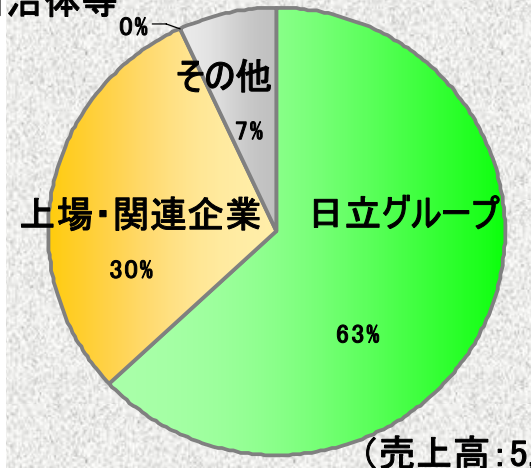






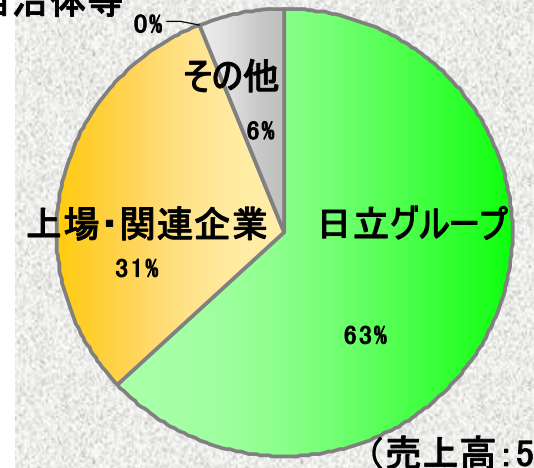
(2009年第9月期)

官公庁・自治体等



(2010年第9月期)

官公庁・自治体等



## 主な取引先(売上高上位5社)

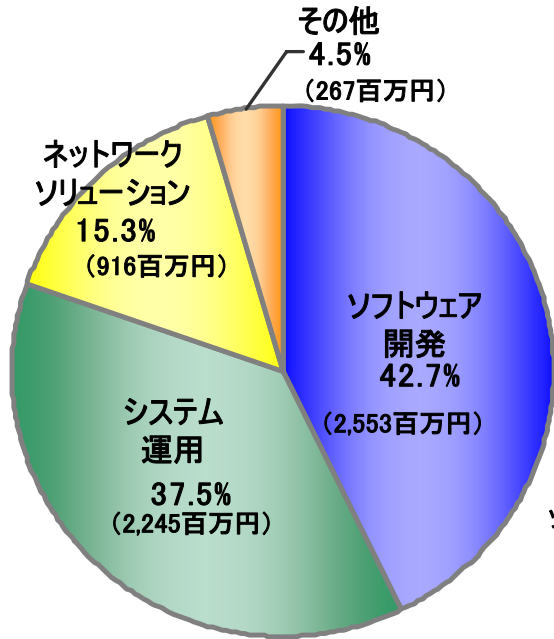
- ・ 日立情報システムズ
- ・ 日立システムアンドサービス
- ・ 日立情報通信エンジニアリング
- ・ 日立建機ビジネスフロンティア
- ・ 日立システムバリュー

## 主な取引先(売上高上位5社)

- ・ 日立情報システムズ
- ・ 日立システムアンドサービス
- ・ 日立情報通信エンジニアリング
- ・ 日立建機ビジネスフロンティア
- ・ 日立アドバンスシステムズ

**安定した取引基盤**

(2009年第9月期)



(売上高: 5,983百万円)

主な取引先(売上高上位3社)

- ソフトウェア開発
- ・日立情報システムズ
  - ・日立アドバンストシステムズ
  - ・ITインフォメーションシステムズ

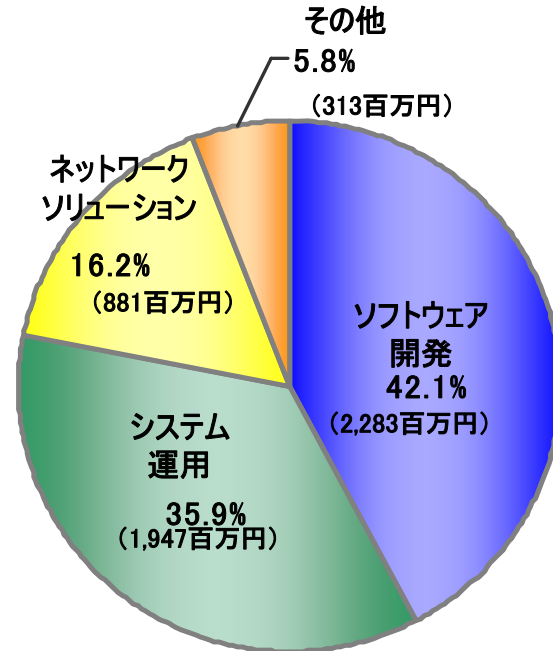
システム運用

- ・日立情報システムズ
- ・日立システムアンドサービス
- ・日立システムバリュー

ネットワークソリューション

- ・日立情報システムズ
- ・ユニアデックス
- ・日立情報通信エンジニアリング

(2010年第9月期)



(売上高: 5,425百万円)

主な取引先(売上高上位3社)

- ソフトウェア開発
- ・日立情報システムズ
  - ・住商情報システム
  - ・日立アドバンストシステムズ

システム運用

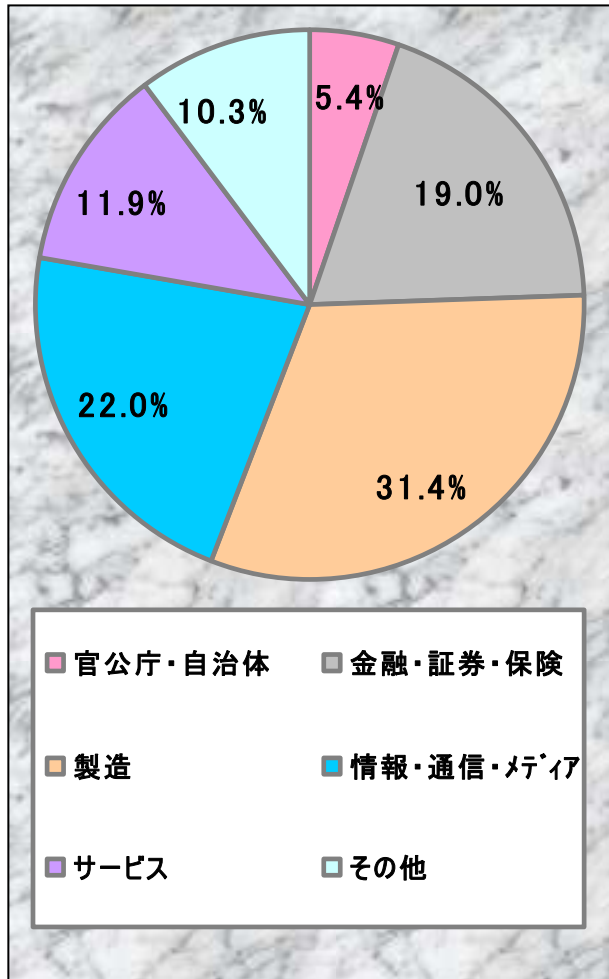
- ・日立情報システムズ
- ・日立システムアンドサービス
- ・日立建機ビジネスフロンティア

ネットワークソリューション

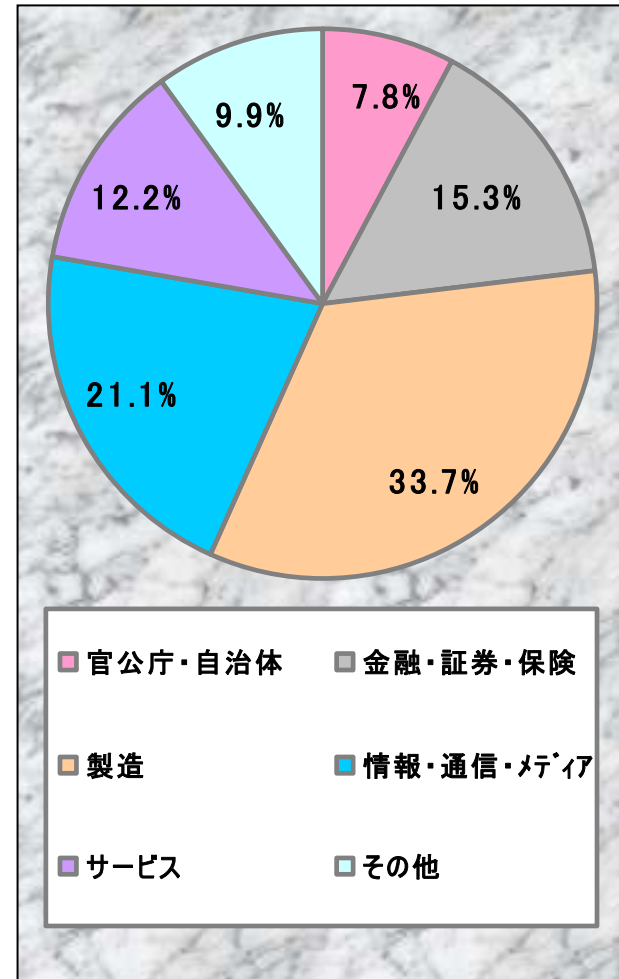
- ・日立情報システムズ
- ・日立情報通信エンジニアリング
- ・アイネス

バランスの良い事業構成

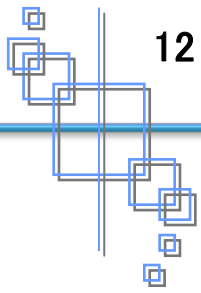
(2009年第9月期 売上高:5,983百万円)



(2010年第9月期 売上高:5,425百万円)

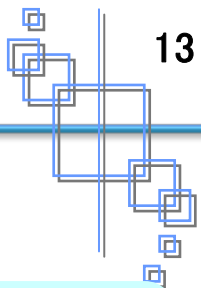


多岐にわたる業種



## Ⅲ 2010年9月期決算内容

(自2009年10月1日 ~ 至2010年9月30日)



### ①業界環境

情報サービス業界においては、企業の情報投資に対する慎重姿勢は変わらず、受注案件の減少、受注単価の引き下げの現状が続いている。  
クラウドコンピューティングなどの登場により、新たなビジネスチャンスの拡がりをみせている。

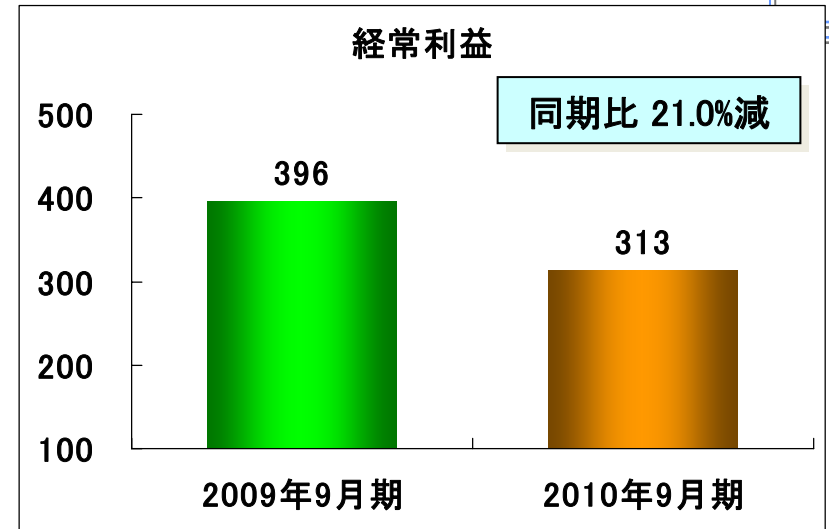
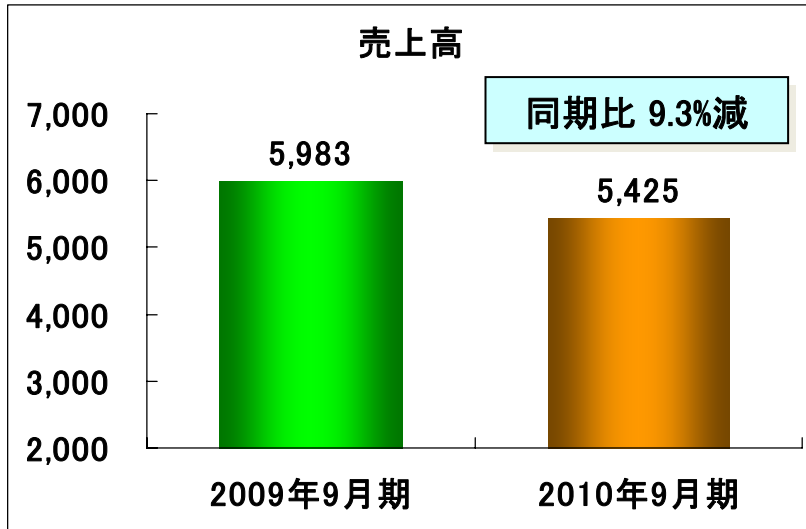
### ②売上高及び経常利益

売上高	5,425百万円	(前年同期比 9.3%減)
経常利益	313百万円	(前年同期比 21.0%減)

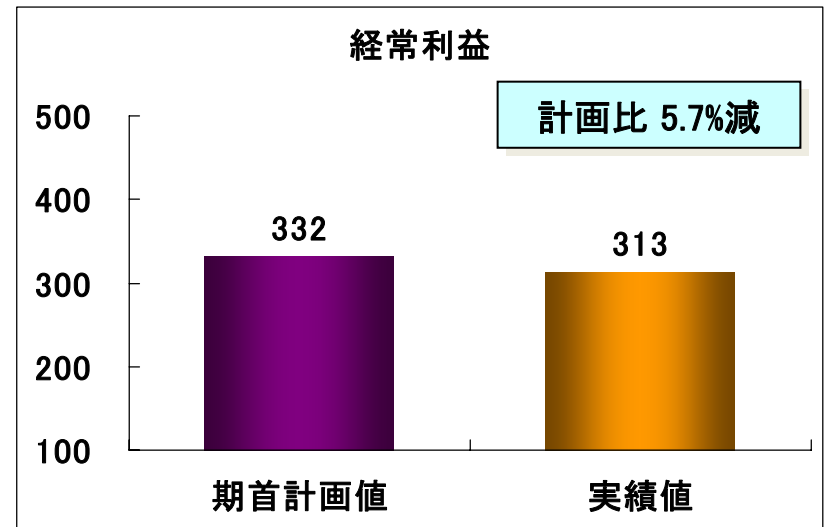
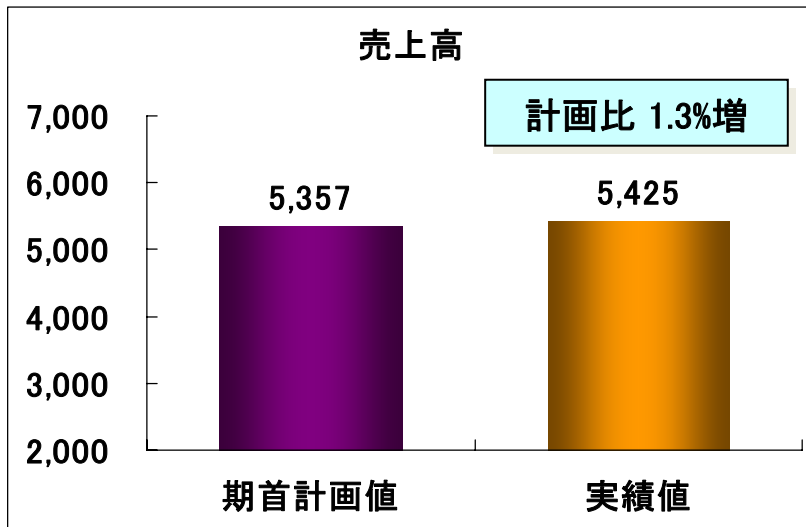
### ③事業部門別売上高

ソフトウェア開発	2,283百万円	(前年同期比 10.6%減)
システム運用	1,947百万円	(前年同期比 13.3%減)
ネットワークソリューション	881百万円	(前年同期比 3.9%減)
その他	313百万円	(前年同期比 17.2%増)

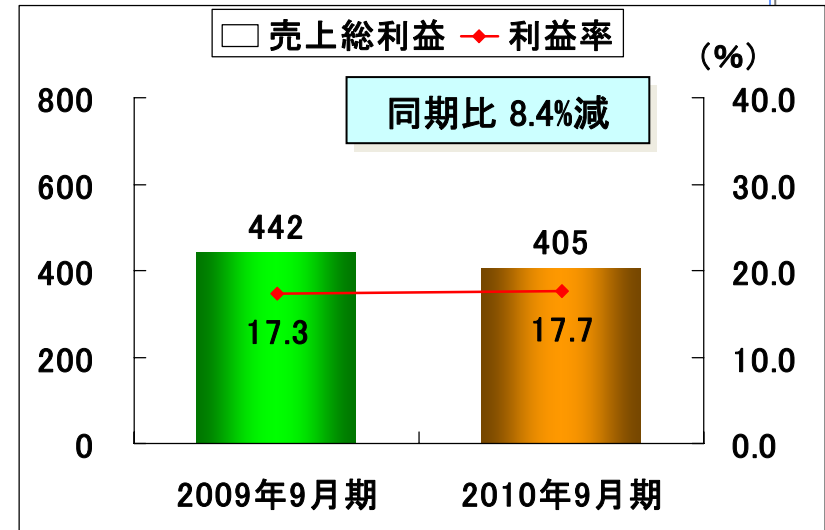
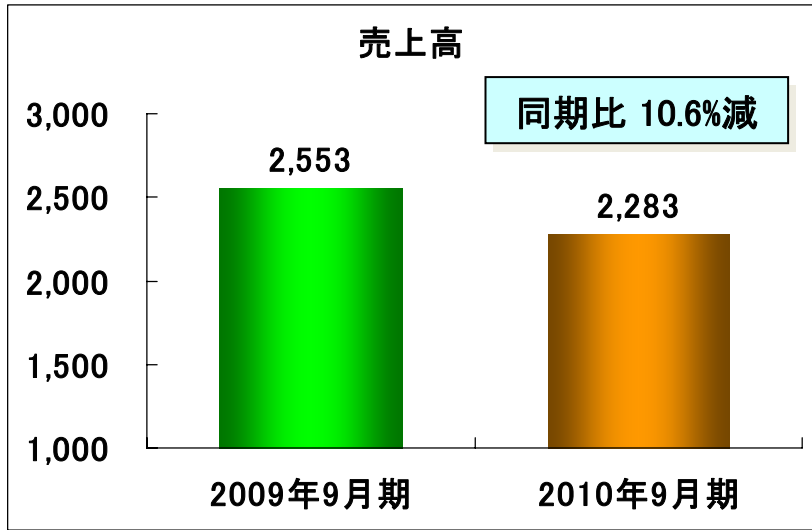
## 前年同期との比較(単位:百万円)



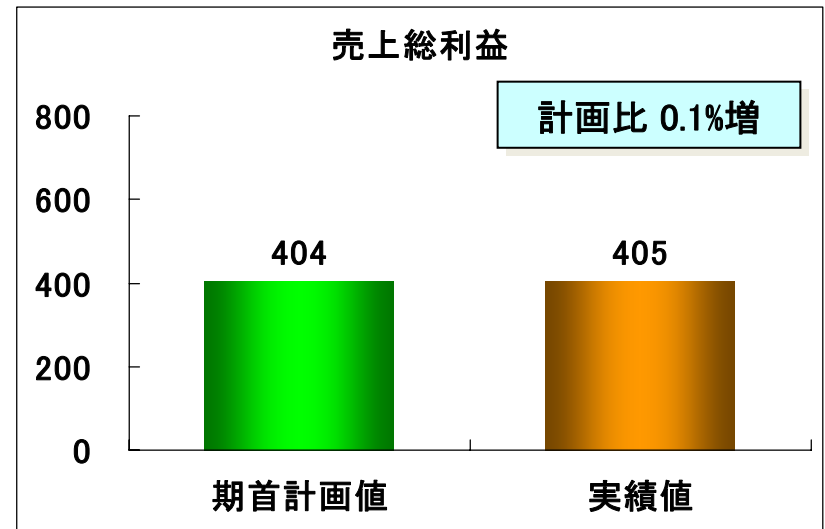
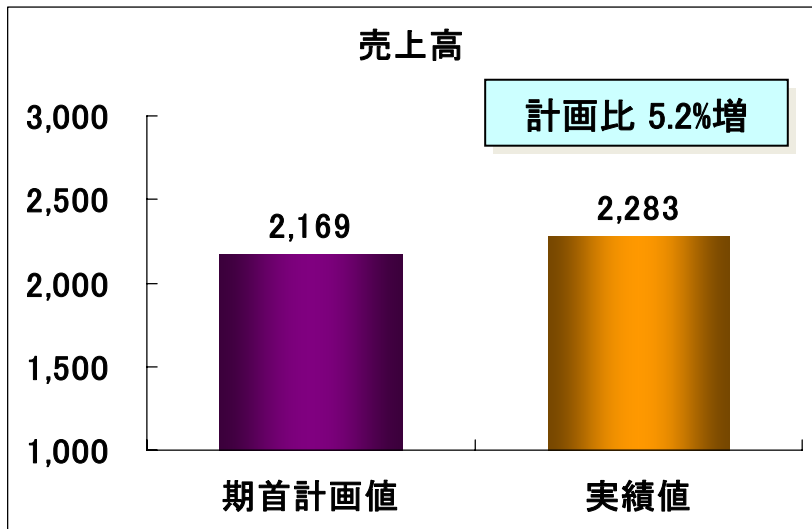
## 期首計画値との比較(単位:百万円)



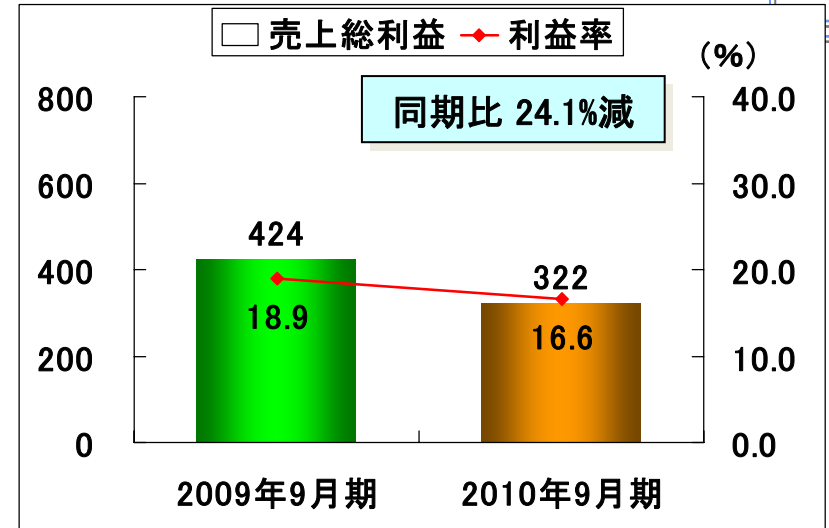
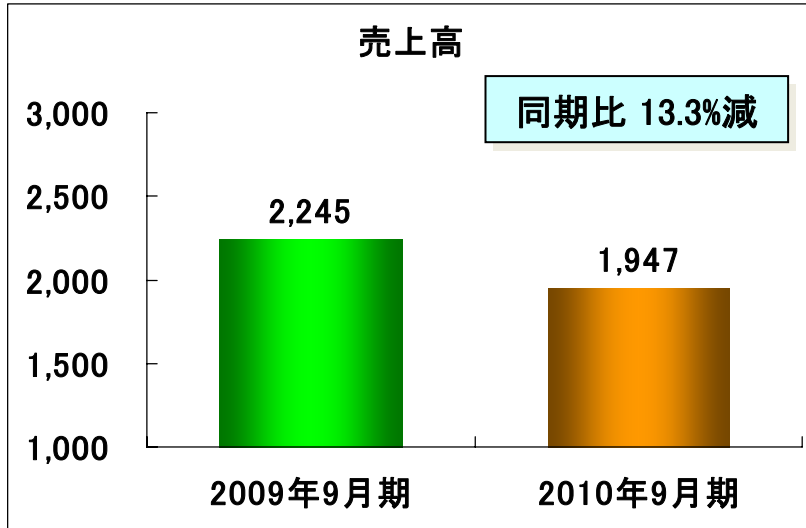
## 前年同期との比較(単位:百万円)



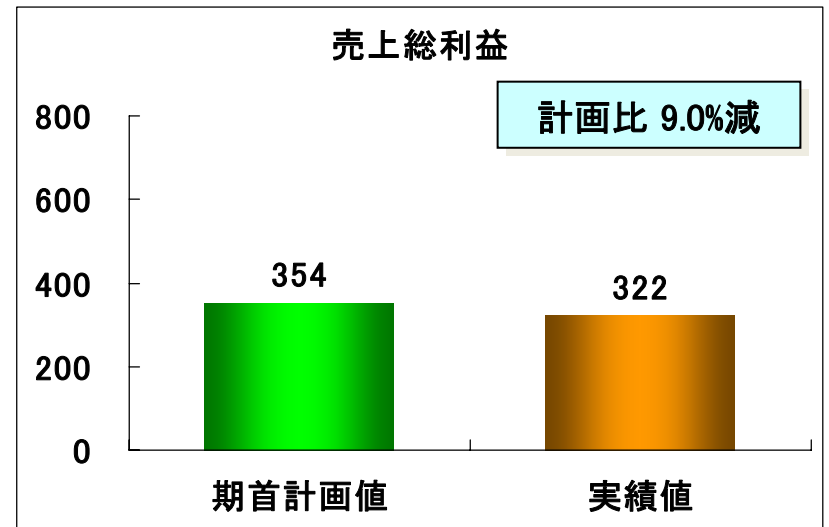
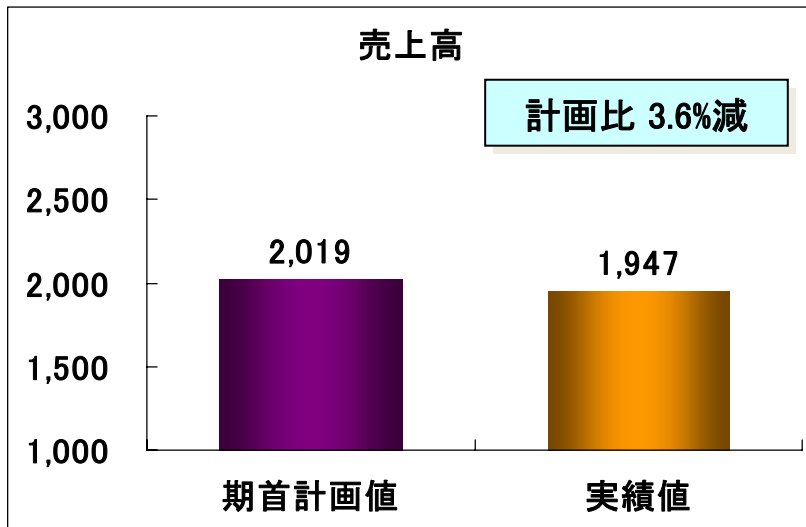
## 期首計画値との比較(単位:百万円)



## 前年同期との比較(単位:百万円)

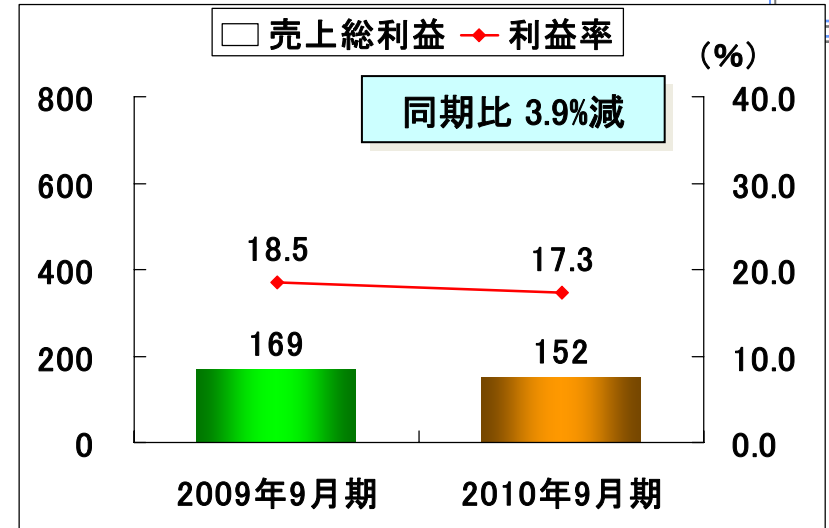
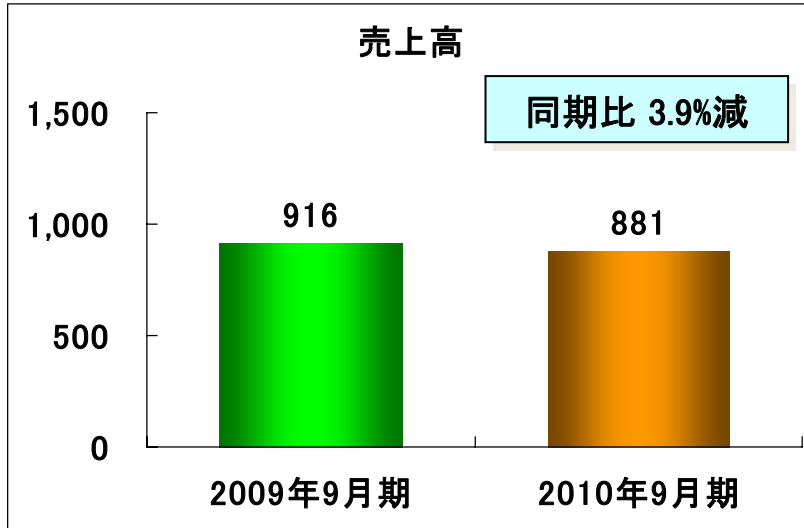


## 期首計画値との比較(単位:百万円)

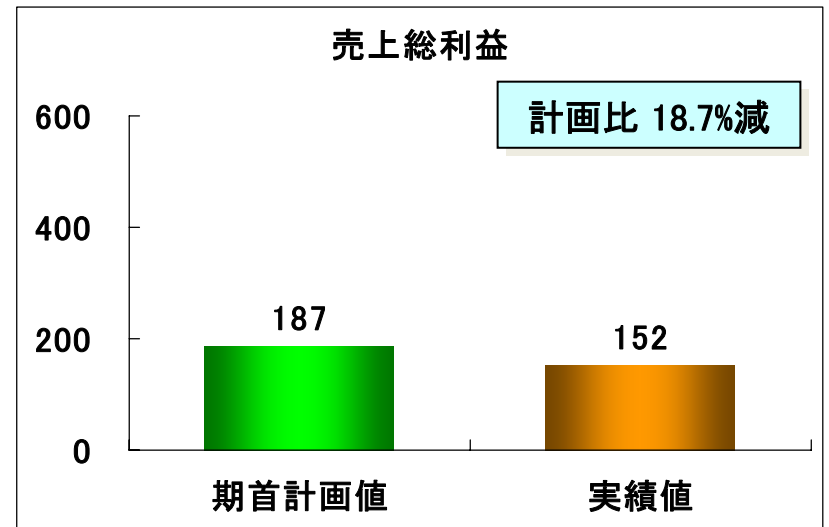
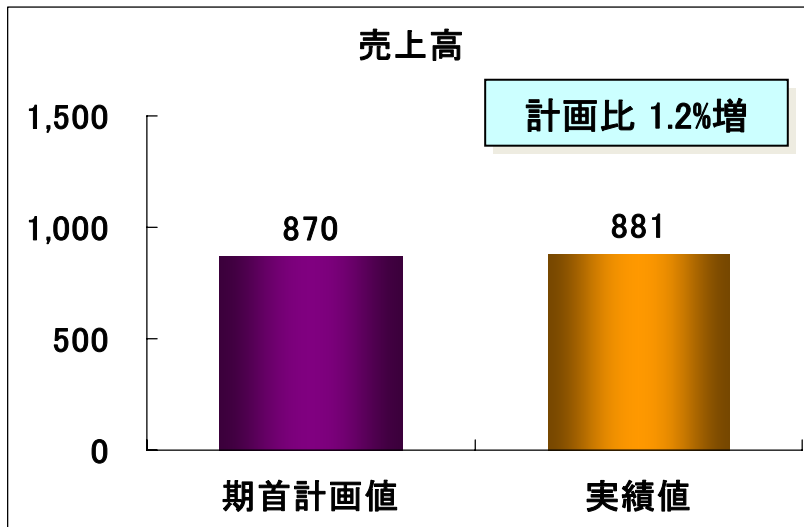




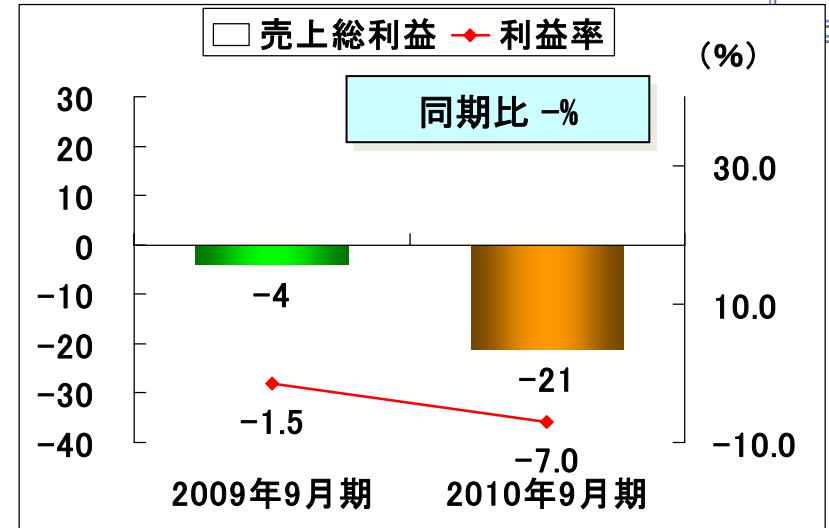
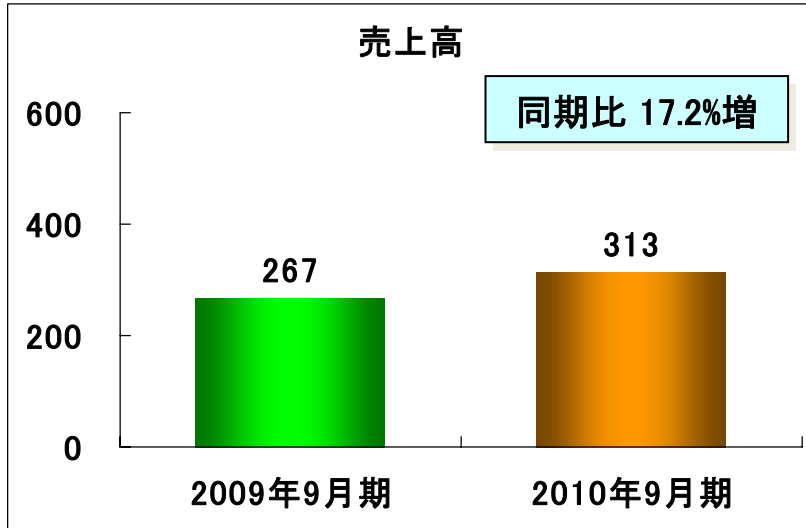
## 前年同期との比較(単位:百万円)



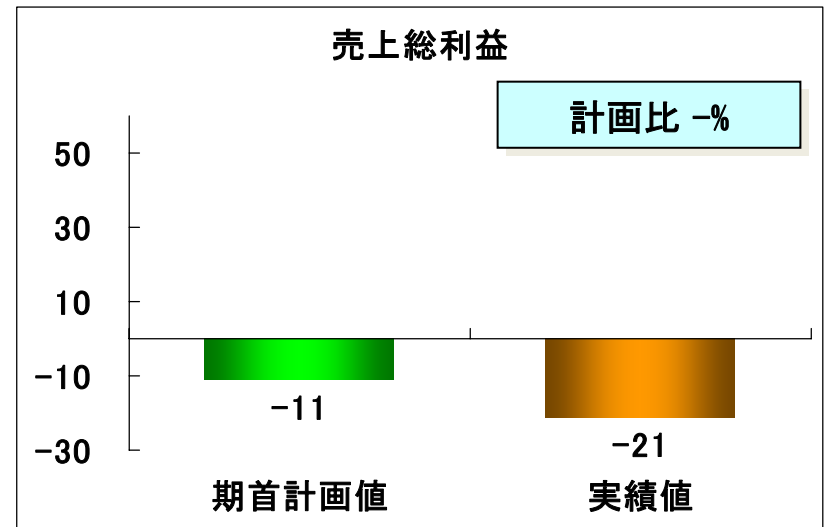
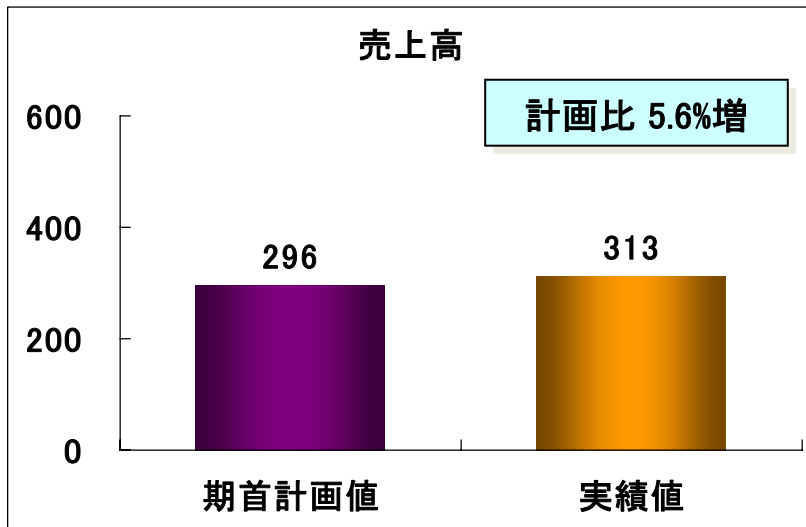
## 期首計画値との比較(単位:百万円)



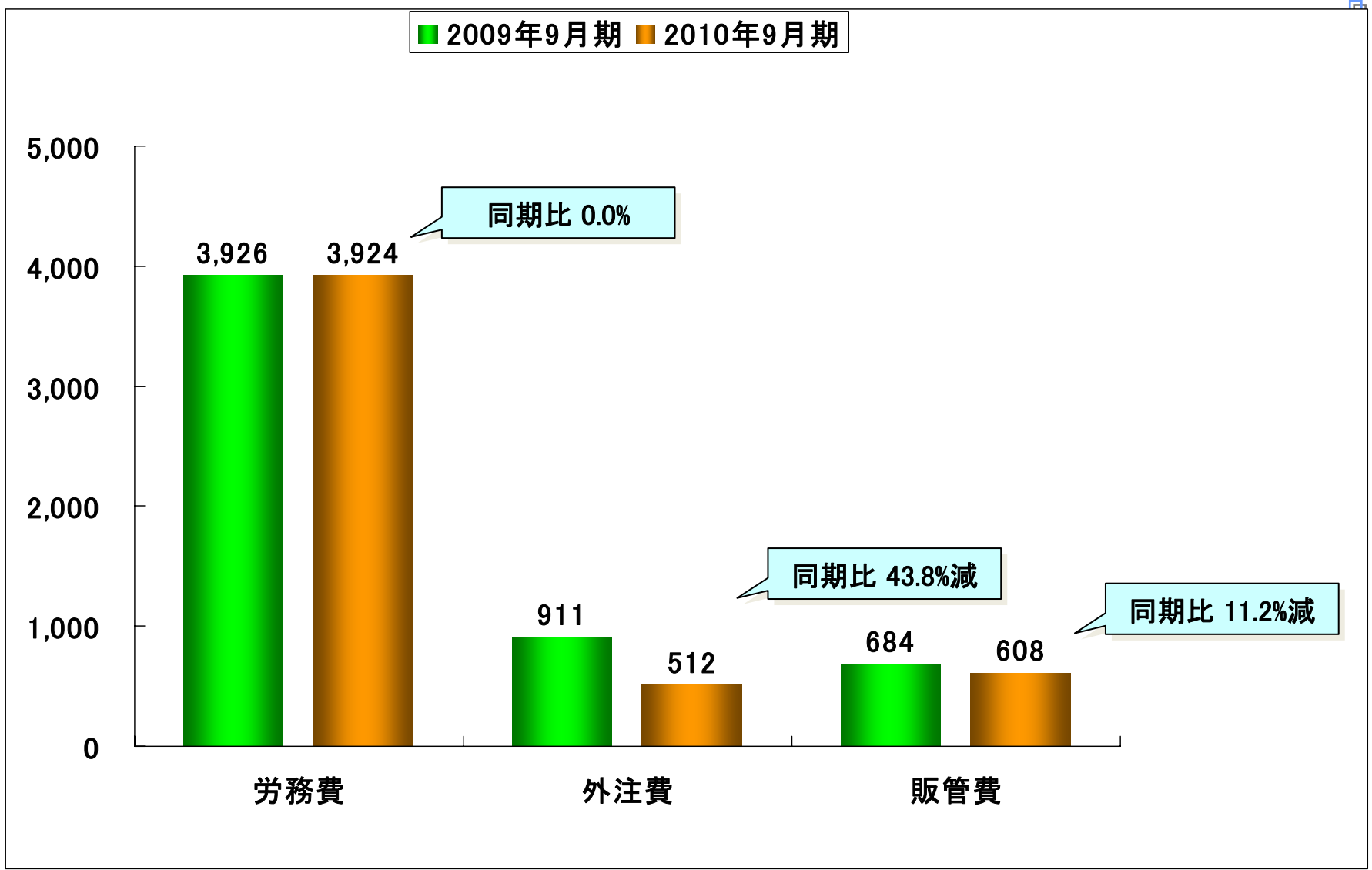
## 前年同期との比較(単位:百万円)



## 期首計画値との比較(単位:百万円)

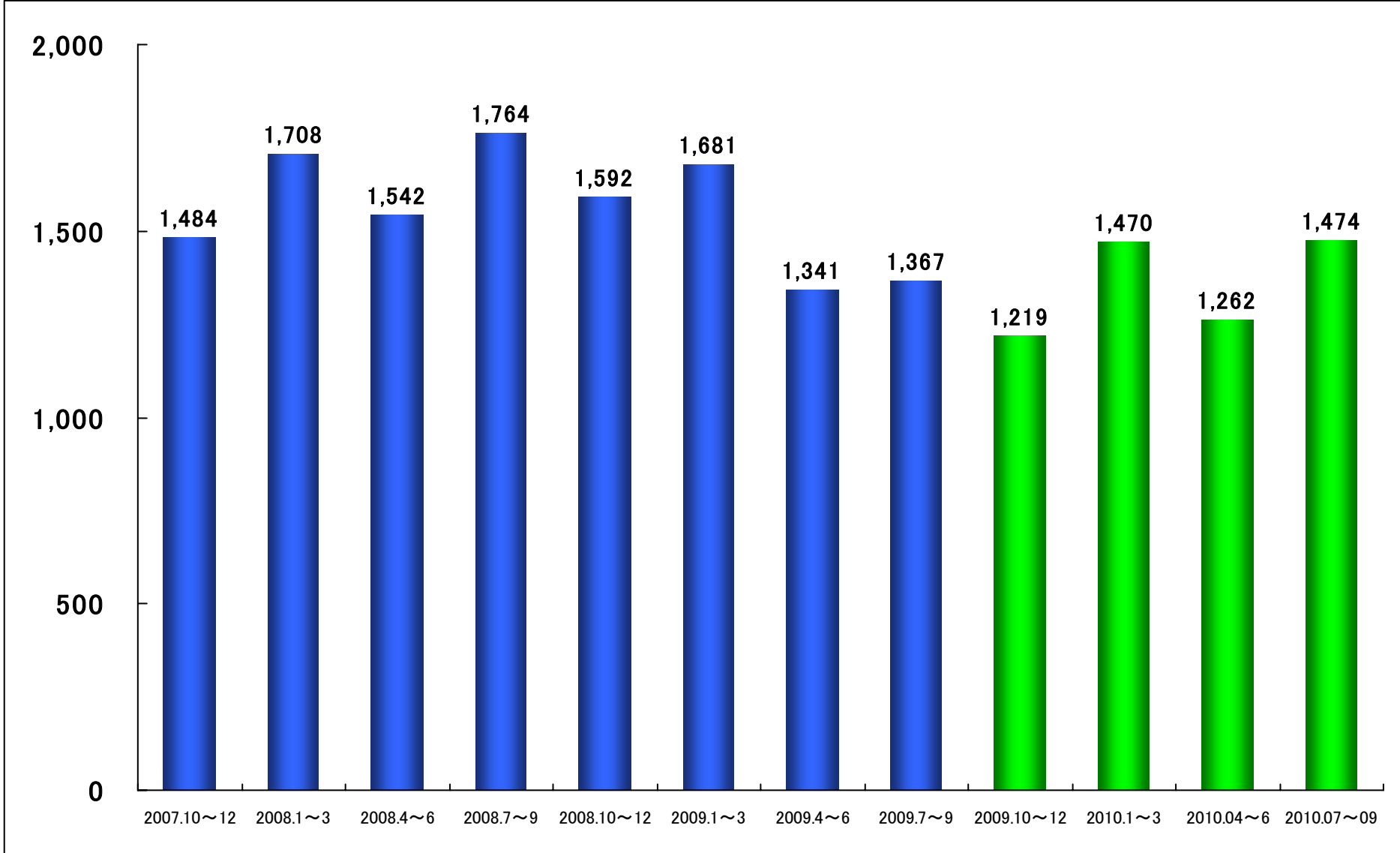


## 前年同期との比較(単位:百万円)





## 売上高四半期推移(単位:百万円)





(単位:百万円)

	2009年第9月期	2010年第9月期	増減額	増減率
売上高	5,983	5,425	▲ 557	▲ 9.3%
売上総利益	1,032	857	▲ 174	▲ 16.9%
売上総利益率	17.3%	15.8%	1.5P 低下	
販売費及び一般管理費	684	608	▲ 76	▲ 11.1%
販売費及び一般管理费率	11.4%	11.2%	0.2P 低下	
営業利益	347	249	▲ 98	▲ 28.2%
営業利益率	5.8%	4.6%	1.2P 低下	
経常利益	396	313	▲ 83	▲ 21.0%
経常利益率	6.6%	5.8%	0.8P 低下	
当期純利益	187	165	▲ 22	▲ 11.8%
一株当たり当期純利益	48.90円	43.12円	▲ 5.78円	▲ 11.8%
一株当たり年間配当金	22.00円	22.00円(予)	0.00円	0.0%
期末人員	815名	785名	-30名	▲ 3.7%

## IV 今後の中長期的な経営戦略 及び2011年9月期業績見通し

2008年10月にスタートした中長期計画(5カ年)は、事業環境の変化などを勘案して一部見直し、2010年10月からを初年度とする3カ年の経営計画として纏め直しました。

## I. 経営方針

### 1. スローガン

「ITであなたの思いを形に」

### 2. 経営理念

- 情報処理のサービスを以って、社会に奉仕します。
- 企業の理念に賛同、投資いただいた株主様に奉仕します。
- 組織と共に成長を続ける社員に奉仕します。

### 3. ビジョン

お客様へ社員一人ひとりが誠実な対応を以って、お客様の為になる価値のあるソリューションを提供します。  
お客様から喜ばれ信頼されることを励みにして、社員と会社が共に成長できることを目指します。

### 4. ミッション

インフォメーションクリエイティブは、お客様に本当に喜んでいただけるコンピュータサービスをモットーにソリューションサービスの向上に努めてまいります。  
社会の一員として情報化社会の進展に創造性を以って社会に貢献します。

## II. 新中期経営計画(2010年10月～2013年9月)

### 1. 中期計画コンセプト

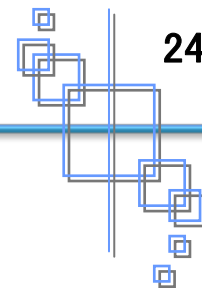
「仕事の取れる事業推進」

### 2. 中期計画のテーマ

- 新事業領域への挑戦と革新
- 既存事業成長へのパラダイムシフト
- 事業を支える経営基盤のイノベーション

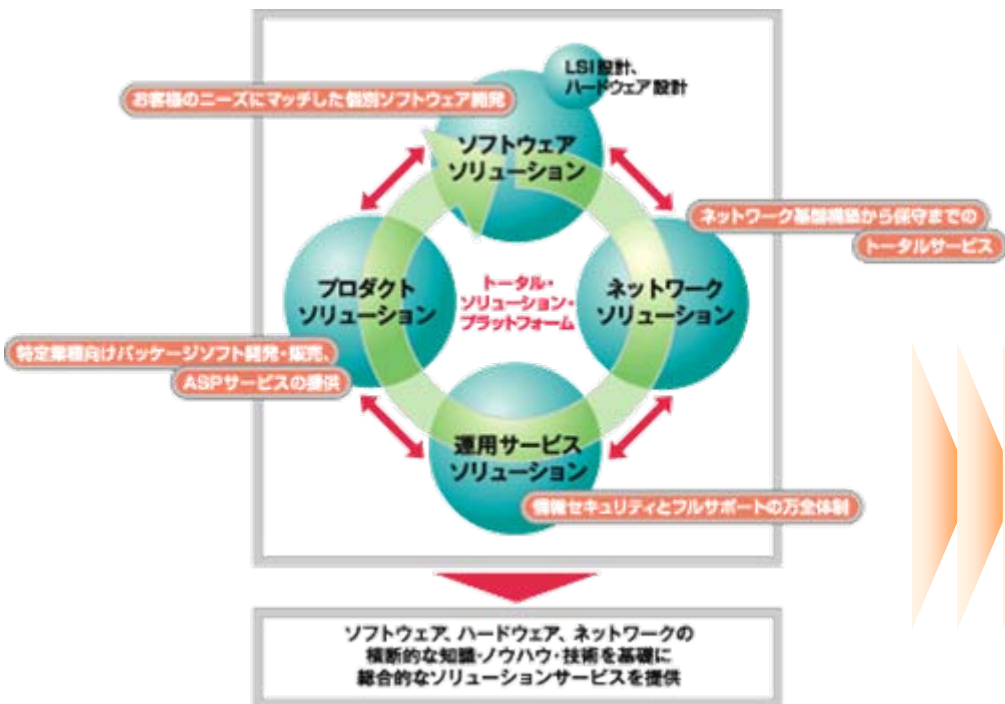
長期経営目標

— 創業40周年に向けて、東証2部上場を目指す —



## ●新たなトータル・ソリューション・プラットフォームの構築

これまでのプラットフォーム

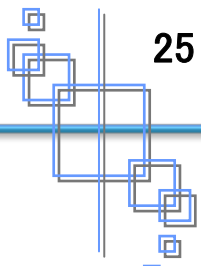


次代のプラットフォーム



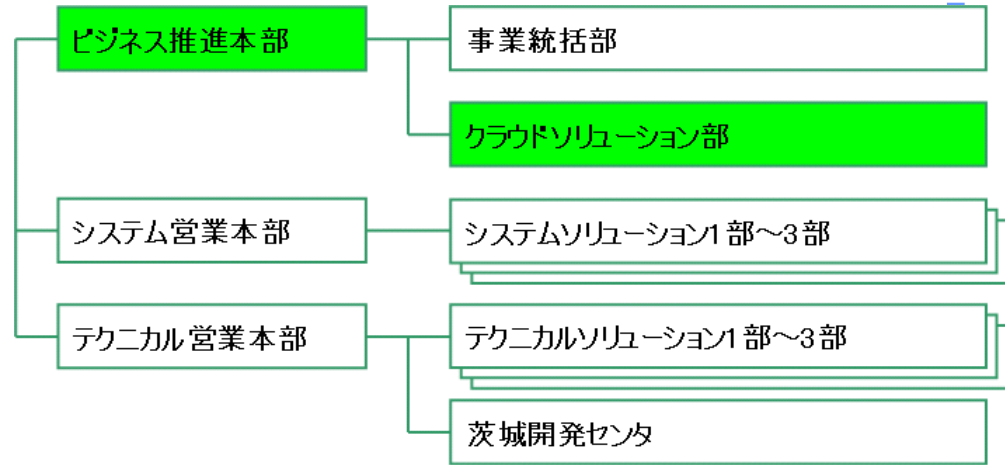
これまでの4つのソリューションを「ソフトウェア」、「運用サービス」、「クラウド」の3つのソリューションに再構築しました。従来の「ネットワーク」と「プロダクト」を包含した「クラウド」に再編することで、今まで以上のスピードと柔軟性をもって、新事業・新サービスの開発・提供を図っていきます。





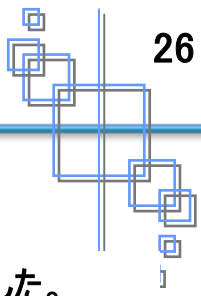
## ●クラウドコンピューティングへの対応強化を目的に、専門部署を新設

「ネットワークソリューション」、「プロダクトソリューション」を包含した新たな事業部門として「クラウドソリューション部」を新設しました。今後、この事業部門を中心に新たな事業創造、顧客開拓を進めていきます。



## 各事業部門の主な戦略

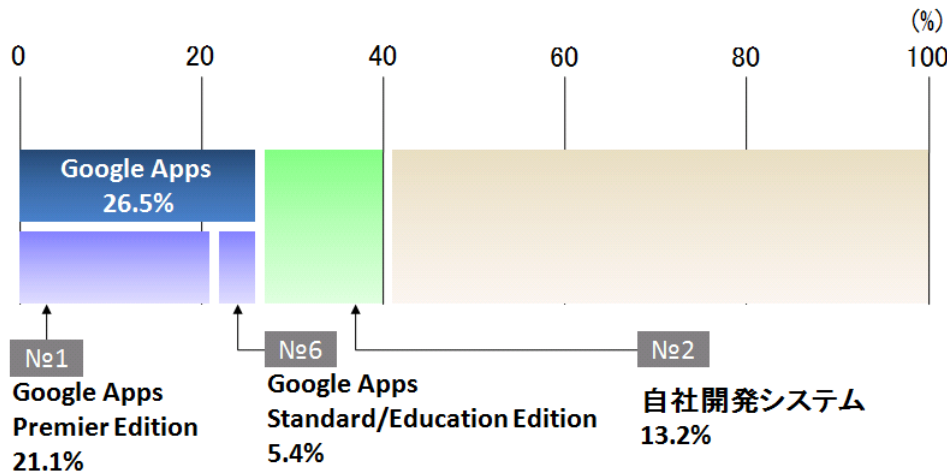
<p><b>事業統括部門(営業)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業部門を中心に、新組織の機能を有機的につなぎ、受注機会を拡大</li> <li>● IT系ベンチャー企業などとの協業、業務提携を推進</li> </ul>	<p><b>テクニカルソリューション部門(34期売上目標:30.3億円)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮想化技術者・クラウド技術者の育成強化</li> <li>● マシンオペレーション技術者部門の合理化</li> </ul>
<p><b>システムソリューション部門(34期売上目標:24.2億円)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一括請負の受注拡大と生産性向上(20%改善)</li> <li>● 組込みソフトウェアの領域拡大</li> </ul>	<p><b>クラウドソリューション部門(34期売上目標:2.5億円)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな事業の創造(新サービス・ASPの販売)</li> <li>● 中堅・中小企業向けユーザー獲得</li> <li>● Google Apps導入支援サービス強化</li> </ul>



## ●Google Apps導入支援事業を開始

株式会社バイテックスシステムズとの2010年9月に業務提携を行い、Google Apps導入支援事業を開始しました。Google Appsを各企業へ最適なソリューションとして提供することを目的とし、各企業に対して、コンサルティング、導入移行、カスタマイズ、サポート、教育を展開していきます。

■「今後利用したいツール」No.1はGoogle Apps



出典: ITmedia リサーチインタラクティブ/ITR(2010年3月)

### 【Google Appsの導入支援】 「利便性の向上」+「コスト削減」が可能

- サーバはGoogleが全て用意
- アプリケーションの購入が不要
- セキュリティ対策や迷惑メールもGoogleが対応
- アプリやサーバのバージョンアップは不要
- データの暗号化、バックアップもGoogleが対応
- 多言語対応
- 大規模災害やパンデミックが起こっても利用可能

\*本文中に掲載された社名及び製品名、サービス名は各社の商標又は登録商標です。

当社は、このGoogle Apps導入支援事業の展開を足掛かりとして、クラウドソリューションの展開強化、技術・ノウハウの構築を進めていきます。又、中堅・中小企業を含む新規顧客の獲得に繋いでいきます。

※株式会社バイテックスシステムズは、Google社からパートナーアワードを受賞するなど、Google Appsにおいて傑出した技術を有しています。

設立: 1998年7月

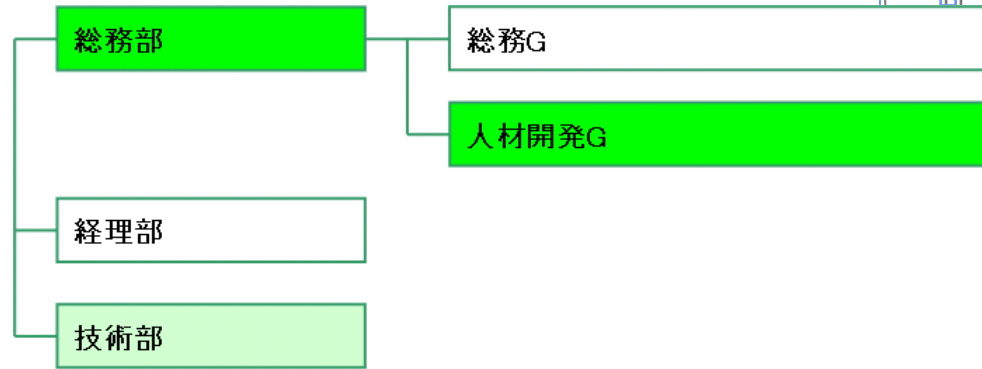
資本金: 5千万円

従業員数: 30名

## ●人材育成の一層の強化を目的に人材開発センターを設置

当社では、エンジニアの技術力向上を目的に技術部という教育部門が人材育成を行ってきました。

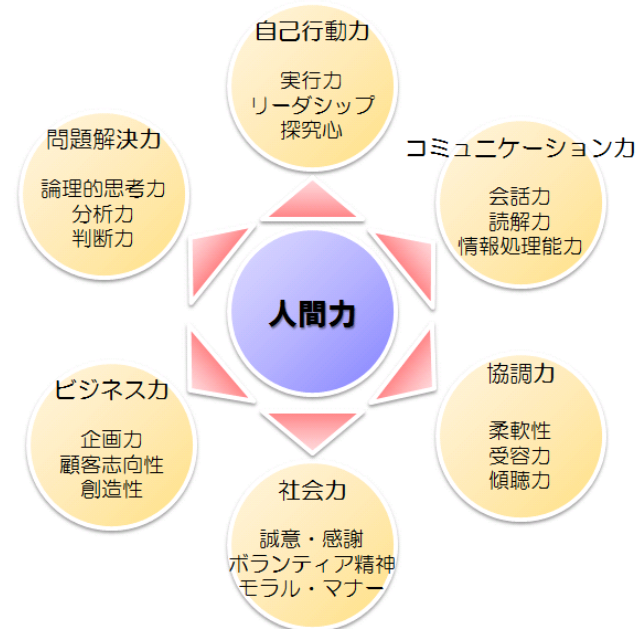
今後、技術力向上に加えヒューマンスキル向上を目的に人材開発グループ(人材開発センター)を新設しました。

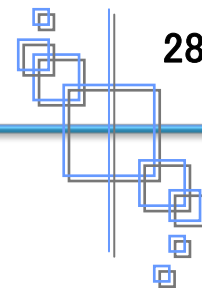


## ●「人間力」を高める人材開発プログラムの作成

人材開発グループ(人材開発センター)では、問題解決力、ビジネス力など「人間力」を高める教育を目指します。

又、段階的に、事業創造に挑戦し、積極的にチームを率先する「パイオニア型社員」を育てていきたいと考えています。



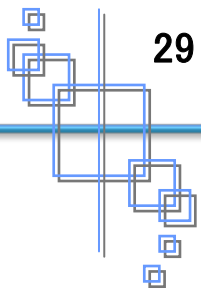


## 足元の状況

### 上半期分(10月 - 3月)受注高達成状況

(単位:百万円)

		ソフトウェア 開発	システム 運用	ネットワーク ソリューション	自社製品	製品 その他	合計
前 期 (09年10/末時点) 09/10-10/03	受注予算	1,130	987	418	29	103	2,669
	実績(受注済)	643	609	270	42	44	1,611
	計画達成度	56.9%	61.8%	64.6%	144.0%	43.1%	60.3%
		ソフトウェア 開発	システム 運用	ネットワーク ソリューション	自社製品	製品 その他	合計
当 期 (10年10/末時点) 10/10-11/03	受注予算	1,159	1,114	313	24	150	2,762
	実績(受注済)	705	603	307	29	70	1,716
	計画達成度	60.8%	54.1%	98.1%	120.8%	46.9%	62.1%



## 事業部門別 前期との比較

(単位:百万円)

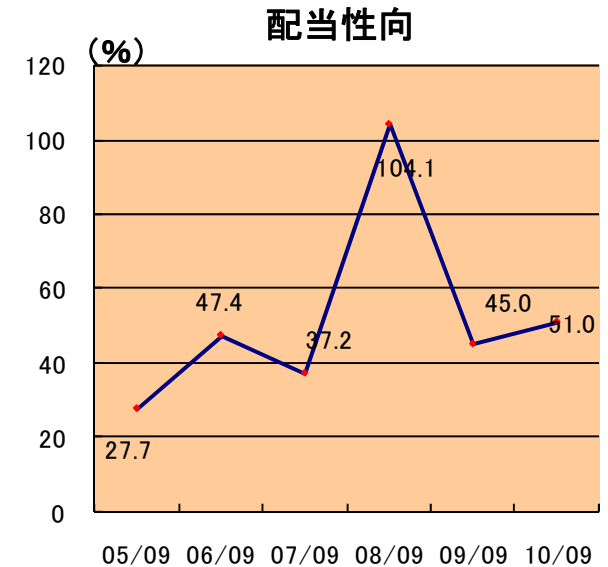
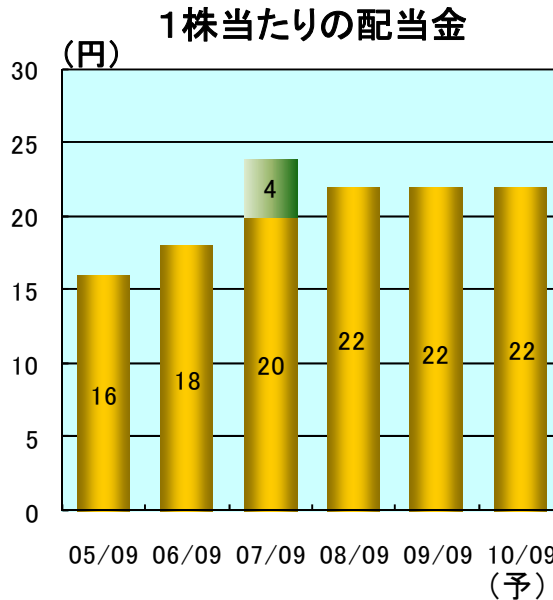
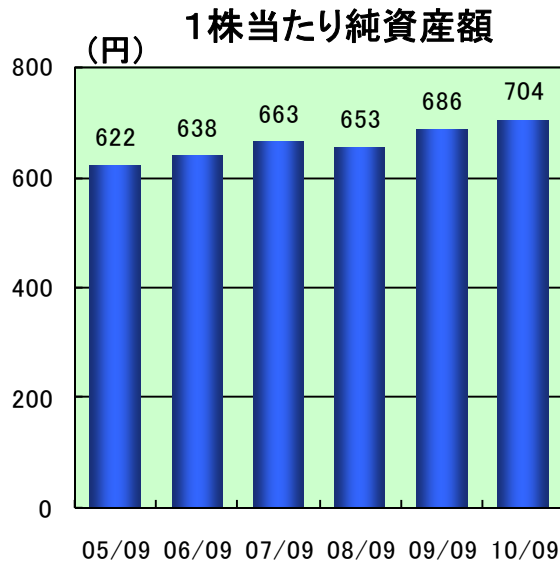
	前期(10/09)	当期(11/09)	増減額	増減率
ソフトウェア 開発	2,283	2,483	200	8.8%
システム 運用	1,947	2,277	329	16.9%
ネットワーク ソリューション	881	600	▲ 280	▲ 4.1%
その他	313	341	28	9.2%
合計 (売上高)	5,425	5,703	277	5.1%
経常利益	313	280	▲ 32	▲ 10.5%
当期純利益	165	141	▲ 23	▲ 14.1%

基本の方針



安定配当

## 業績等を勘案して利益配分



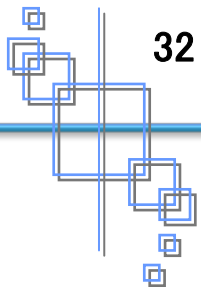
※2007年9月期の配当金につきましては、  
普通配当20円に創立30周年記念配当4  
円を加えた合計24円としております。

## 財務基盤

**無借金経営を維持**

＜注意事項＞

- 資料中の業績見通し数値及び将来についての計画や戦略は現時点において入手可能な情報に基づくものです。又、重大なリスクや不確実性を含んでいます。
- 実際の業績に与える影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、市場需要、IT業界における激しい競争等がありますが、これらに限定されるものではありません。



本日はありがとうございました



株式  
会社

インフォメーションクリエイティブ



ITであなたの**思い**を形に



<http://www.ic-net.co.jp>

お問合せ先

株式会社インフォメーションクリエイティブ

常務取締役 経営企画室長 小沢 庸司

TEL 03-5753-1211 FAX 03-5753-1220

E-mail investor-relation@ic-net.co.jp